

平成 26 年度第 3 回霞ヶ浦自然観察会結果報告

霞ヶ浦で繁殖する鳥たちの観察を実施しました。

開催日時：平成 26 年 5 月 10 日（土）10 時 00 分から 14 時 10 分まで

開催場所：（午前）かすみがうら市、川尻ウェットランド周辺霞ヶ浦湖岸およびハス田
（午後）霞ヶ浦環境科学センター研修室

参加者：21 名

第 3 回の霞ヶ浦自然観察会は、この時期としては初めて野鳥の観察会を行いました。講師には毎年、冬の渡り鳥の観察でお世話になっている川崎慎二先生。

当日は絶好の晴天となりましたが、鳥類の観察には本当は曇りのほうが光の影響を受けずに最適とのこと。それでも、歩いて観察するにはちょうど良い季候でした。

観察は霞ヶ浦湖岸・川尻ウェットランド周辺で、堤防の上から、湖と反対側のハス田を徒歩で観察していきました。まずは双眼鏡の使い方を川崎先生から教えていただきました。

初夏の霞ヶ浦湖岸で“ギョギョシ、ギョギョシ”とよく耳にするオオヨシキリですが、普段はなかなか姿を見つけにくいもの。しかしそこは川崎先生、ハス田そばのススキの穂に止まるオオヨシキリの姿をフィールドスコープでとらえ、参加者全員で確認することができました。湖岸のほうには留鳥のオオバン、カワウのほか、まもなく北へ向かうカモ類も見られ、季節の変わり目を実感しました。

午後は霞ヶ浦環境科学センター研修室で、午前中見られた鳥たちを参加者全員で確認し、合計 26 種類の鳥の名前が上がりました。川崎先生より、留鳥・夏鳥・冬鳥の別、また繁殖場所の違いを表にして説明していただきました。（表は最終頁参照）

初めて、この時期に実施した野鳥の観察会ですが、参加者アンケートで、ぜひ来年以降もこの時期に実施してほしいという意見が大多数でしたので、来年度も実施を検討したいと思います。

参加者の皆さん、川崎先生、パートナーの皆さん、当日はお疲れ様でした。

環境活動推進課 福井正人

まずは双眼鏡の使い方の勉強
基本が大事、みなさん真剣です。



コゲラです。





水の上にいるのはオオバンが多いです。陸地に止まっているのはカワウです。



ハシビロガモ
水質のバロメーターに
なります。
富栄養湖に多い鳥です。



みなさん熱心に観察します。



オオヨシキリ



午後は研修室で学習会を行いました。

平成 26 年 5 月 10 日第 3 回霞ヶ浦自然観察会（霞ヶ浦川尻ウェットランド周辺）
 観察した鳥の一覧表

	このあたりで子育てする鳥		もっと北で子育てする鳥
	1 年中いる（留鳥）	夏鳥	
人家	スズメ ムクドリ	ツバメ	ハシビロガモ マガモ オカヨシガモ コガモ
草原	バン オオバン カイツブリ カルガモ	オオヨシキリ	
砂・小石	ハクセキレイ イソシギ セグロセキレイ		
林	アオサギ ダイサギ コサギ コゲラ カワウ トビ ハシボソガラス ヒヨドリ カワラヒワ	チュウサギ ゴイサギ	

見られた鳥，合計 26 種